

平成29年度 橋梁点検の概要

群馬県橋梁点検要領(案)【改訂版】に定める「定期点検」を実施し、橋梁の損傷状況を把握したうえで、群馬県橋梁点検要領(案)【改訂版】及び国土交通省橋梁定期点検要領に基づき対策区分の判定を行いました。

また、その結果を基に道路橋定期点検要領の区分により健全性診断を判定いたしました。

健全性診断の判定区分及び対策区分の判定区分

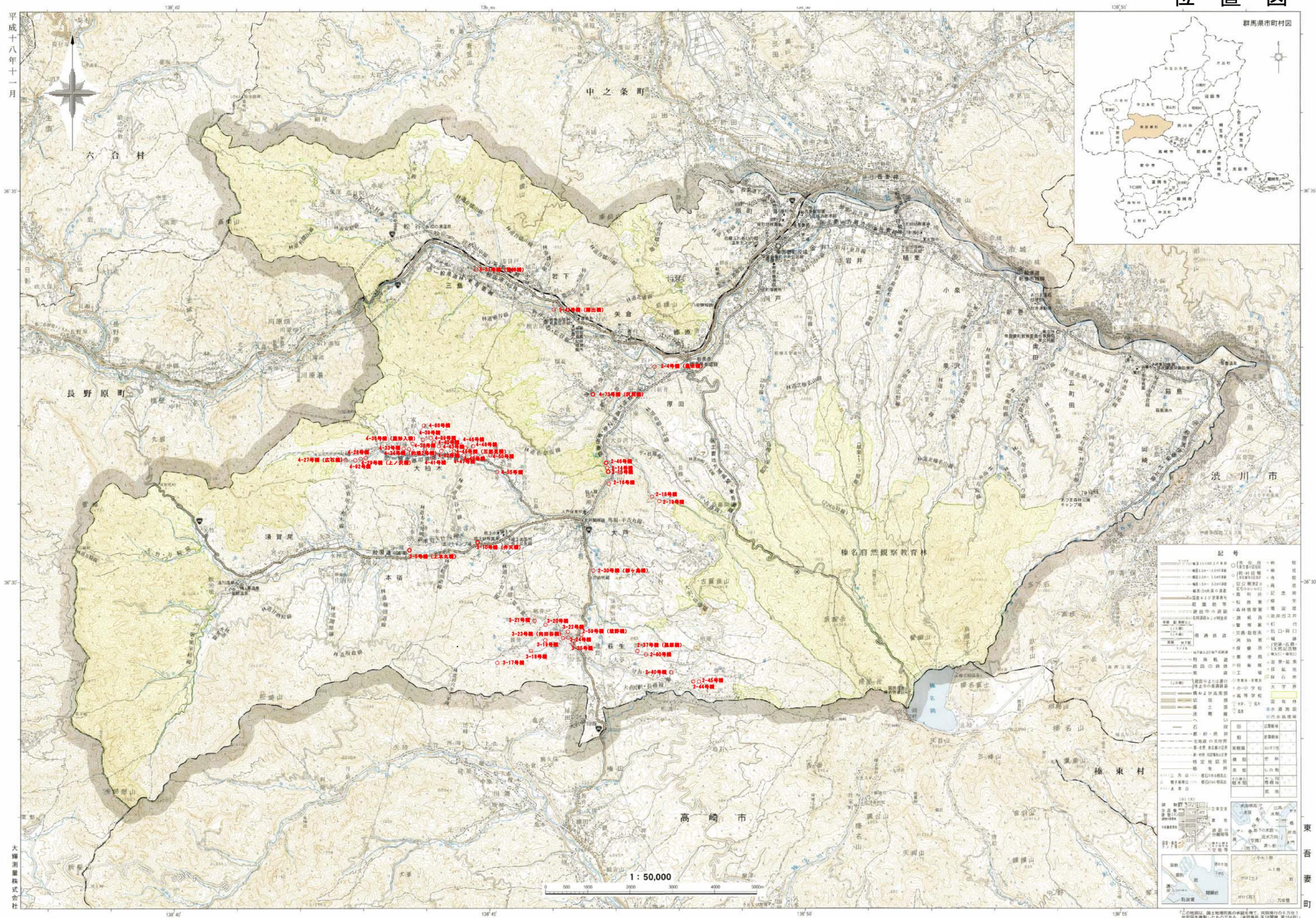
道路橋定期点検要領		群馬県橋梁点検要領（改訂版）	
健全性診断の判定区分		対策区分の判定区分 (定期点検)	
記号	状態	記号	内容
I	健全 道路橋の機能に支障が生じていない状態。	A0	損傷が認められない。
		A	損傷が軽微で補修を行う必要がない。
		B	状況に応じて補修を行う必要がある。
II	予防保全段階 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	M	維持工事で対応する必要がある。
		C1	予防保全の観点から、速やかに補修を行う必要がある。
III	早期措置段階 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修を行う必要がある。
IV	緊急措置段階 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
		E2	その他、緊急対応の必要がある。
—	調査の結果を踏まえて、I～IVで判断。	S1	詳細調査の必要がある。
		S2	追跡調査の必要がある。

平成29年度 橋梁点検結果一覧表

No.	橋銘	橋長	径間数	材料区分:構造形式	供用年	補修履歴	健全性の診断	(1)緊急性が高い対策区分等の主要部材		(2)速やかな補修が必要なその他部材	維持工事が必要な部材	備考
								対策区分	左記対策区分の部材区分	部材区分		
1	2-4号橋(鳳来橋)	50.0	1	鋼:トラス橋	1967	無	II	C1	床版	伸縮装置	防護柵、舗装	
2	2-14号橋	3.5	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
3	2-15号橋	3.2	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
4	2-16号橋	3.3	1	RC:スラブ橋	不明	無	I	C1		伸縮装置	支承本体、舗装	
5	2-18号橋	13.6	1	RC:T桁橋	1959	無	III	C2	主桁	伸縮装置、支承本体	地覆	
6	2-19号橋	12.6	1	RC:T桁橋	不明	無	I	C1		伸縮装置、支承本体	防護柵、舗装	
7	2-30号橋(柳ヶ島橋)	21.8	1	PC:プレテンスラブ桁橋	1996	無	I	C1		伸縮装置	地覆、その他	
8	2-37号橋(黒原橋)	6.9	1	RC:スラブ橋	不明梯子	無	I					
9	2-40号橋(大石第2橋)	3.4	1	RC:RCボックスカルバート	不明	無	I					
10	2-44号橋	4.4	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
11	2-45号橋	4.4	1	RC:スラブ橋	不明	無	I	C1		伸縮装置		
12	2-46号橋	3.2	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
13	2-59号橋(境野橋)	12.5	1	PC:プレテンスラブ桁橋	1995	無	I	C1		伸縮装置		
14	2-60号橋	2.4	1	PC:RCボックスカルバート	不明	無	I					
15	3-10号橋(弁天橋)	55.0	1	鋼:トラス橋	1975	無	II	C1	主桁、床版	伸縮装置、横構、支承本体・アンカーボルト	防護柵、舗装、排水管、支承本体・アンカーボルト	
16	3-17号橋	4.4	1	RC:スラブ橋	不明	無	I	C1		伸縮装置	舗装	
17	3-18号橋	6.4	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
18	3-19号橋	5.2	1	RC:スラブ橋	不明	無	I				舗装	
19	3-20号橋	4.6	1	鋼:コルゲードパイプ	不明	無	I	C1			舗装	
20	3-21号橋	3.9	1	RC:スラブ橋	不明	無	I	C1			舗装	
21	3-22号橋	3.4	1	RC:スラブ橋	不明	無	III	C2	床版			
22	3-23号橋(向田谷橋)	11.5	1	RC:スラブ橋	1984	無	I				地覆、舗装	
23	3-24号橋	9.7	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
24	3-25号橋	7.4	1	PC:プレテンスラブ桁橋	不明	無	I	C1		伸縮装置	排水管	
25	4-27号橋(広石橋)	11.0	1	RC:スラブ橋	1972	無	I					

No.	橋銘	橋長	径間数	材料区分:構造形式	供用年	補修履歴	健全性の診断	(1)緊急性が高い対策区分等の主要部材		(2)速やかな補修が必要なその他部材	維持工事が必要な部材	備考
								対策区分	左記対策区分の部材区分	部材区分		
26	4-28号橋	13.6	1	PC:スラブ橋	不明	無	III	C2	床版		舗装	
27	4-29号橋(上ノ沢橋)	18.2	1	PC:プレテンション方式PC床版橋	2001	無	II	C1	橋台		舗装、その他	
28	4-33号橋	4.5	1	鋼:H桁橋	不明	無	III	C2	主桁、横桁			
29	4-34号橋(的場2号橋)	4.4	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
30	4-36号橋(家形入橋)	5.5	1	RC:スラブ橋	不明	無	I				舗装	
31	4-38号橋	3.8	1	RC:スラブ橋	1997	無	I					
32	4-39号橋(天神1号橋)	3.5	1	RC:スラブ橋	不明	無	I			伸縮装置		
33	4-40号橋	8.2	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
34	4-41号橋	12.2	1	鋼:I桁橋	不明	無	II	C1	主桁、床版	伸縮装置	橋台	
35	4-42号橋	7.6	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
36	4-43号橋	8.6	1	RC:スラブ橋	不明	無	I					
37	4-44号橋(五郎見橋)	3.8	1	RC:スラブ橋	1975	無	I	C1		舗装		
38	4-46号橋(諏訪沢2号橋)	3.0	1	RC:スラブ橋	1973	無	I				地覆	
39	4-47号橋(諏訪沢1号橋)	2.9	1	RC:スラブ橋	1973	無	I	C1		地覆	舗装	
40	4-48号橋	5.8	1	RC:スラブ橋	1988	無	I	C1		伸縮装置		
41	4-49号橋(羽田橋)	5.3	1	RC:ボックスカルバート	不明	無	II	C1	床版、橋台			
42	4-50号橋	7.7	1	RC:RCボックスカルバート	不明	無	I	C1		舗装		
43	4-55号橋(下中橋)	25.0	2	鋼:H桁橋	不明	無	I	C1		伸縮装置	主桁、床版、橋脚、地覆	
44	4-88号橋	8.4	1	RC:スラブ橋	1990	無	I	C1		伸縮装置	舗装	
45	4-89号橋	7.3	1	RC:スラブ橋	1991	無	I					
46	4-92号橋	6.2	1	RC:スラブ橋	不明	無	II	C1	床版、橋台		舗装	
47	5-31号橋(荒神橋)	69.5	3	鋼:方杖ラーメン橋	1980	無	II	C1	床版	伸縮装置、支承本体・アンカーボルト	緑石、舗装、照明施設、排水管、支承本体	
48	5-42号橋(陣出橋)	77.0	3	鋼:版桁橋	1977	無	II	C1	床版、橋脚、主桁、横桁、床桁、橋脚	舗装、伸縮装置、支承本体・アンカーボルト、地覆、横構	伸縮装置、照明施設、排水ます、支承本体・アンカーボルト、舗装	
49	3-5号橋(上本丸橋)	59.8	4	鋼:方杖ラーメン橋	1972	無	III	C2	床版	地覆、伸縮装置、支承本体・アンカーボルト・舗装	防護柵、地覆、舗装、支承本体・アンカーボルト、排水管、親柱	
50	4-22号橋(沢尻橋)	17.3	2	RC T桁橋	1967	無	II	C2	床版、橋台	地覆、舗装、伸縮装置、支承本体・アンカーボルト	防護柵、地覆、支承本体	

位置図



平成十八年十一月

36°30'

36°30'

大塚測量株式会社

138°40'

138°40'

138°50'

138°50'

138°40'

138°45'

138°50'

138°55'

東吾妻町

この地図は、国土院測定の成果を得て、民間発行の1:50,000地形図を複製したものである。(準拠図号: 甲184号)